

「第8回バットの森づくり」 あなたも参加してみませんか？

実施日時 6月2日（土）～3日（日）

交通費、宿泊費・お弁当代はユニオンが負担します。

「バットの森づくり」は、
 ミズノテクニクス株式会社（岐阜県高山市清見町）と
 オークヴィレッジ株式会社（岐阜県高山市清見町）が共同で、
 2005年春より開始した「バット不適格材 有効利用事業」
 （不適格となったバットを、再度、小物に加工し直すことで有効利用する）
 の寄付金により、NPO法人ドングリの会が開催します。
 バット製造過程で不適格となった材料を有効活用した携帯ストラップなど、
 関連グッズ売上の2%が寄付され、70～80年後にプロ野球選手のバットと
 なるアオダモやカエデ、ホオなど、これまでに約1,560本を植樹しました。
 7回目となる今年は、バットになる木の植樹の他、
 過去の森づくりで定植した木の剪定や下草刈り、堆肥と発酵肥料づくりなど、
 育林作業に力を入れていきます。
 恒例の野球教室も行いますので、野球好きの方はぜひご参加ください。



前回に引き続き参加の
 <東日本ブロックSP営業部
 フロント販売課
 人財PJメンバー 加藤真希子さん>

時 間	6月2日(土) 13:00～ 3日(日) 15:00
場 所	岐阜県高山市清見町
持ち物	軍手、タオル、雨具、飲み物

**申込み締め切日
 5月14日(月)**

【昨年の参加者の声】

植樹、剪定作業など日常にはない貴重な体験ができました。
 又、バットに使用する木材になるまでに70年以上かかる
 という事で子供達が参加しているこのイベントが物を大切に
 扱うきっかけによいと思います。
 台風の接近で作業が短時間になってしまったのは残念です
 が、又機会があれば参加したいです。

<西日本ブロック：物流サービス部国トレ課 武智 浩子さん>

今回、私自身初めての植樹経験となりました。
 雨の中、たくさんの苗木を山の斜面に植えるのはとても大変
 でしたが「はやく大きくなってね」という気持ちを込めて
 植えていきました。ほんの微力ですが、未来の環境に繋がる
 活動に携わる事ができ、貴重な経験ができたと思います。

<ミズノテクニクスブロック：ゴルフ製造部生産管理課
 人財PJメンバー 古田 智美さん>



台風の影響で悪天候の中での植樹作業と、
 又、久保田名人のバット削り実演を通じて
 子供達にバット（道具）を大切に扱う事の
 大切さが伝えられました。

**参加ご希望の方、御質問等はMC20Fユニオン事務所までお願いします。
 TEL：MC8471 FAX：8497**